

富山ユニットセンター

実施体制

子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）富山ユニットセンター

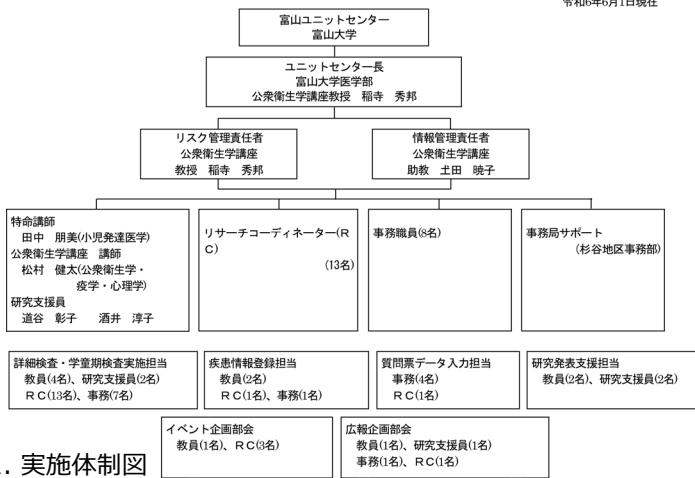


Fig.2. 富山UCの対象地域

● 現参加者数（子ども）
4,975 人

● 調査対象地域：
富山市、滑川市、魚津市、
黒部市、入善町、朝日町

参加者とのコミュニケーション活動

イベントの開催について

富山ユニットセンターではこれまでイベント来場者の質問票返送率が高く、調査からの脱落率が低いことを報告してきた。そして、イベント開催は「来場したからこそ調査そのものに熱心になる方」を増やすチャンスととらえている。

2024年度については「13歳以降調査への勧奨」「新規のイベント来場者増」「一般の方へのエコチル調査周知」等を目標に以下のイベントを開催予定である。

エコチルとやま感謝フェスタ2025 「帰ってきたらんま先生！ecoを学ぶサイエンスショー」

以前ゲストにお迎えし大好評を博した、eco実験パフォーマーであり環境省認定環境カウンセラーの「らんま先生」のリクエスト企画として開催予定。

調査参加者だけでなくご友人やそのご家族も参加可能とすることで、広く一般の方々にもエコチル調査の周知や成果の還元を行う。

らんま先生のサイエンスショーに加え、コアセンターから講師を迎える「エコチル調査の紹介」でさらに調査への理解や地球環境への興味関心を深めていただく構成としている。



学童期検査会場における「夏休み自由研究」題材の提供

学童期検査会場で「学童期検査で自由研究をしよう」と題した科学コミュニケーションを行った。

具体的には、学童期検査の会場内に、エコチル調査の概要および人の体の作りなどを学ぶ内容のパネルを複数枚設置し、来場するお子さまには学んだ内容を記入できるパンフレットを渡すという企画である。

会場では多くの親子が内容を閲覧し、パンフレットを持ち帰る様子も多数見られた。

また「実際に自由研究の題材にした方は、作品の画像を送ってね」と呼びかけてユニットセンターの連絡先を掲示したところ、作品の画像を共有いただいた。

